

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社リボン	代表者	飛田 尚文	法人・事業所の 特徴	弊社は総合福祉サービスを展開しており、各事業所が其々の状況に合わせたコンセプトに向かって運営しております。当事業所は窓から海が見える景色が最大の特徴であり、夕日や虹がとても綺麗だと利用者様から大変に好評を頂いています。介護が必要になっても自宅に住み、可能な限り住み慣れた環境の中で、その人らしい生活を支援しています。また、防災対策としてオール電化を基準としており、安心していただける設備となっております。
事業所名	ファミリアてらまち	管理者	柳澤 民子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	2人	2人	2人	1人	人	5人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①アセスメント記入後は全職員が確認し、印を押す。②連絡ノートに確認印欄を設け、必ず全職員が確認を行う事の徹底。③個人情報漏洩がない様に文書やデータ管理の徹底を行っている。今後は定期的に会議の中で議題に上げ、さらに意識を高める。	①アセスメント表記入から利用開始まで時間が短く全員押印まではできていない。②職員連絡ノートの確認欄作成し、確認印の徹底している。③個人情報に関して個人ファイルは鍵の掛かる棚に収め、日々の情報(引き継ぎ簿)はファイル閉じて管理している。	会議への出席については、シフト調整など難しいと思われるが、良い取り組みだと思う。	早期のアセスメント作成と職員周知を行ない、利用開始時まで時間的余裕をもつ。様々な会議については職員が出席できるようにシフト調整を行う。(シフト作成者に事前に会議開催報告し、前もって出席可能シフト作成を準備する)
B. 事業所のしつらえ・環境	①運営推進会議時に施設内見学を設ける。②施設へなじみの品を持参して頂くことで泊まり時には、落ち着くことの出来る環境づくり努めている。今後は日常会話の中から利用者のニーズを少しずつ導き出し、各々に合った環境づくりに努める。資源マップを活用する。	①運営推進会議時の施設内見学は1度行ったのみ、いつでも見学できるように開けた施設の雰囲気づくりに努める。②お泊りの時など普段使いの枕を持参頂き夜間使用している。資源マップ作成に関しては、作成を早目、新しい情報をどんどん足していくように職員に周知する。	事業所は過ごしやすい環境に整えられていると思う。また、職員の対応も良いと思う。臭いや騒音など気になるような事は感じない。	来年度の運営推進会議にて、施設内見学の機会を年2回程度設ける。環境については今まで通りに務める。資源マップについては、アセスメント収集時に同席したものが作成、職員に周知行なう。
C. 事業所と地域のかかわり	①挨拶、言葉遣いの研修を定期的に行う。不適切な言葉が聞かれた際は、お互いに注意し合える環境づくりに努め、無くしていく。②ケアマネを窓口にご相談を受けている。今後は介護相談会を設け、より相談しやすい環境をつくる。③地域向け広報誌を定期的に作成し、施設を知って頂く。	①言葉使いの乱れが目立ってきた場合普段から職員同士で注意しあい、また所属会議内で注意し合う環境をつくる。②ケアマネが窓口の状況に変わりはなく、介護相談がいつでも出来る環境である。③地域向け広報誌の作成は現在怠っている状況である。	地域の行事や防災訓練への参加等、積極的に地域との関わりを持っていると思う。今後も地域との繋がりを深めてもらいたい。地域の高齢者の相談については、やはり市役所ではないかと思う。	昨年同様、地域の学校との繋がりを続けていく。(10/26には糸魚川中学校にて職業講話行った)地域向け広報誌については、毎月作成のファミリア新聞と隔月作成のしおかぜ新聞を活用してみる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①回覧板を活用させて頂き、定期的に広報誌を作成し、施設の情報をお知らせしていく。地域行事の情報収集に努め、出来る限り地域の方との交流を図っていく。	①ファミリアてらまち広報誌作成してなく、施設情報の公開は出来ていない。防災訓練へ参加させていただき、地域の方に車椅子を押していただくなどし、知っていただく機会があった。お祭りなどは見学に出掛けた。	地域の行事等には積極的に参加していると思う。資源マップを活用できる様職員間で共有されることを望みます。	C同様に、ファミリア新聞活用し、ファミリアの活動を地域の方に知っていただく。地域資源マップ活用し、ご利用者が今後も地域とつながっていただけるように考える。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①今後、運営推進会議にて改善・結果報告、事例検討を取り入れていく。②年度計画で早めに日程を家族にお知らせする。また、運営推進会議の議事録を家族に配布する。	①改善、結果報告、事例検討等の提示を行っていない。②家族には早目の連絡できており、運営推進会議の議事録配布もできている。	改善計画の他にも会議で出た意見に対する取組みについて報告があると良いと思う。	改善計画、結果報告、事例検討等に関する取組みは努力します。
F. 事業所の防災・災害対策	①区と連携し、独居生活または老々介護の住民把握を行い、防災・災害対策の連携を図って行きたい。	①区内の独居老人、老老介護の把握を現在行っている段階。区の防災訓練には参加、協力いただいている。	地区と連携し、災害等の協力体制が築かれていると思う。	地区、事業所の防災訓練では、今まで通り協力体制を築いていく。区内、独居高齢者と老老介護の把握に関しては、情報交換を行なってみる事とする。